

美術科指導案

日 時 平成 26 年 10 月 2 日

学 年 厚岸町立〇〇中学校 第 3 学年

生徒数 計 26 名

指導者 厚岸町立教育研究所

図工・美術部会

1 教材（単元）名

I 思いを立体でーボックスアートに思いを込めてー（日本文教出版 2.3 上 P12・13）

※道徳と関連付...内容項目

・多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。

<内容項目 2-(6)>

2 指導観

（1）教材（単元）について

毎年、本校では 3 学年 3 学期に『共同制作による卒業制作』を行っていた。しかし、共同制作には以下のようなデメリットがあった。

- ①作業が進むにつれ同時に作業が出来ない事が増え、手持無沙汰な生徒が出てきてしまう。
- ②時間が大幅にかかる。
- ③意欲的に作業をする生徒、しない生徒に分かれてしまう。
- ④校舎内に作品を飾るスペースがなくなってきた。

上記のデメリットを払拭するために、昨年度から卒業制作をボックスアートにした。ボックスアートは個人制作ではあるが、作品を並べると 1 つの巨大な作品にも見える。

作品のテーマは『3 年間の思い出』にした。中学校生活での楽しかったことや辛かったことなど、自分自身を見つめ直し作品制作を行うという過程は、3 学年 1 学期に行った『自画像』制作にも似ている。

しかし、鏡の中の自己を見つめながら描く自画像とは違い、自分がイメージした世界を様々な材料を使って表現するボックスアートは、「写実性」にこだわる必要がない為、絵を描くことが苦手な生徒でも興味深く取り組める題材である。

また、展示後は持ち帰ることが出来るので、卒業後も作品を通じて 3 年間の思い出を振り返ることが出来る。「自分自身の作品を作り上げた満足感」と、「中学校生活の思い出は、みんなで作り上げてきたという事実」に気づくことで、卒業後の糧となるような作品になるのでは...と期待している。

（2）生徒について

《 省 略 》

(3) 研究テーマ（出来る喜びを実感できる、図工・美術の授業づくり）との関わり

技術を向上させることだけが美術科における目的・目標ではないが、完成度の高い作品を作り、教師や周りの友達に「上手だね」「おもしろい！」と褒められれば、誰であれ嬉しいに違いない。しかし、「上手に作る」ことだけに特化してしまうと「周りから褒められなければ価値がない」と、一生懸命制作した作品に愛着が持てなくなってしまう可能性もある。

「出来る喜び」とは、楽しんで制作出来た結果得られるものであると考える。楽しんで制作出来たと実感するためには、必要最低限の技法や道具の使い方を習得すること、そして、苦手意識を持たせず意欲的に取り組めるような授業づくりが重要である。ボックスアートを題材にした理由は、様々な材料・技法を用いて、自分自身の思い出を形に表す過程はきっと「楽しい」ことだと感じるであろうと考えた為である。

本時では、道徳での DVD 観賞・ワークシート記入（1 時間）及びアイディアスケッチ（2 時間）を終えた、制作過程の 2 時間目を行う。試行錯誤しながらアイディアスケッチを行い、それを形にしていく過程を楽しんでいる生徒の姿を見て欲しい。

3 単元目標

○美術への関心・意欲・態度

- ・自分自身を見つめ、思い出の情景を基にした立体及び表現に関心を持ち、想像力を働かせて主体的に表現したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。

●発想や構成の能力

- ・思い出の情景のイメージを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫して独自のイメージを追求する。

○創造的な技能

- ・自分の表現意図に合う表現方法を工夫し、創造的に表現している。

●鑑賞の能力

- ・造形的なよさや美しさ、思い出の情景のイメージを基に、自分の思いを表現することの喜びを味わっている。
- ・友人の作品に対する思いを知り、相互理解を深めあう事が出来る。

4 指導計画

指導計画	留意点及び評価方法など (①関心・意欲・態度 ②発想や構成の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力)
1. 思い出を振り返る (1 時間) ・ DVD 鑑賞 (アイディアスケッチ前に、3 年を振り返る) ・ 参考作品鑑賞	・ DVD を観賞し、自分自身の思い出を振り返り、意欲的にワークシートに記述している (①) ・ 作品から受ける印象や感じたことを、周りの友人たちと共有することが出来る (④)
2. アイディアスケッチ (2 時間) ・ アイディアスケッチをしよう (文章・ラフスケッチ・表現方法などを考える) (相互鑑賞 1)	・ ボックスアートに興味を持ち、主体的に表現の工夫などを考えて意欲的に制作している (①) ・ 情景を思い浮かべながら、効果的な表現方法を用い、自分の考えを描ける (②) ・ 友人の作品の良さを感じ取り、自分の作品へ生かそうとしている (②) ・ 様々なアイディアスケッチが出来る (③) ・ 自分の作品や、友人の作品の良さを感じようとする事が出来る (④)
3. 制作 (6 時間) (相互鑑賞 2) ・ 背景 (ポスターカラーで着彩) ・ 配置する作品 (粘土・針金・その他) ※2/6 時間目が本時	・ 背景と配置する作品のバランスなどを考え、意欲的に制作している (①) ・ 情景を思い浮かべながら、効果的な表現方法を用い、自分の考えを描ける (②) ・ 下描きや自分の考えに応じた表現方法を考え、作品に生かしている。(③) ・ 自分の作品や、友人の作品の良さを感じようとする事が出来る (④)
4. 作品とキャプションの完成、作品展示 (1 時間) (相互鑑賞 3)	・ 自分の作品を振り返ったり、自分の作品や友人の作品について、よさや工夫されている点など、根拠を挙げて記述したり、発表している (①) ・ 自分の作品や、友人の作品の良さを感じようとする事が出来る (④)

6 本時案

(1) 本時の目標

- ・ 背景と配置する作品のバランスなどを考え、意欲的に制作している (①)
- ・ 情景を思い浮かべながら、効果的な表現方法を用い、自分の考えを描ける (②)
- ・ アイディアスケッチや自分の考えに応じた表現方法を考え、作品に生かしている。(③)
- ・ 自分の作品や、友人の作品の良さを感じようとする事が出来る (④)

(2) 本時の展開 (50分)

	時	学習活動	教師の指導	留意点及び評価方法
導入	5分	<p>【本時課題を把握】</p> <p>①背景の下描きの仕方のおさらいを聞く。</p> <p>②背景(箱)の着彩方法の説明を聞く。</p> <p>・教師の説明を聞く。</p> <p>・教師に注目し、作業の仕方を見る。</p>	<p>【作業についての説明】</p> <p>・下描き方法のおさらい(前時で詳しく説明している)</p> <p>・背景(箱)の着彩の方法(以前の授業でも扱っている)</p> <p>☆ポスターカラーの使用法</p> <p>☆水の量</p> <p>☆筆の種類</p> <p>・板書を見て自分で進められるようにする。</p>	<p>・ボックスアート(組立前)、針金、紙粘土、ボンドなど必要最低限のものは学校で用意し、その他は一人ひとりの計画に沿って準備させる。</p> <p>・作業の手を止め、教師の説明を聞いているか確認しながら指示。</p> <p>【評価方法】</p> <p>・活動の様子(①)</p>
展開	35分	<p>【作業の追求】</p> <p>①自分の作業を進める</p>	<p>【机間指導】</p> <p>・自分で考え、制作を進められるようにそれぞれの進度に合わせて支援。</p> <p>★下描きが終わっていない生徒に対する支援...アイデアスケッチ前に行った「思い出を振り返る」シートを見て、何をどのように表すか考えるよう助言する。場合によって、一緒に考える。</p> <p>★着彩中の生徒に対する支援...アイデアスケッチや自分の考えに応じた表現方法を考え、作品に生かしているか確認。</p> <p>★着彩が終了した生徒に対する支援...次の作業の説明(半分以上が着彩を終えたら、全体に次の作業の指示を行う)</p>	<p>・何をしたらいいかわからなくなったら、板書やプリントを見る。それでもわからなかったら質問をするように指示。</p> <p>【評価方法】</p> <p>・制作の様子(①、②、③)</p>
整理・まとめ	10分	<p>【片付け】...10分</p> <p>・道具の片付け</p> <p>・本時の感想をスケジュールに記入。</p>	<p>【次回の予告】</p> <p>・着彩の続き</p> <p>・粘土を使った作業など</p>	<p>【評価方法】</p> <p>・活動の様子(①)</p> <p>・ワークシートの記述(④)</p>

美術ワークシート

ボックスアートに思いを込めて

3年 組 番

氏名

中学校生活3年間を振り返り、ボックスアートに表現してみましょう。作る・描く・貼る…など、今まで美術で学習してきたことを全て生かして、自分らしい表現を追求して下さい。

1 スケジュール

日付	学習内容	感想
1	思い出を振り返る (道徳・DVD) 作品鑑賞	
2	アイディアスケッチ 必要な道具を挙げる 必要な道具を持ってくる	
3		
4	制作 ・箱の色を塗る。 ・箱の中に入れるものを作る。	
5		
6		
7		
8		
9		
10		着彩⑥ 全体を整える 完成 相互評価

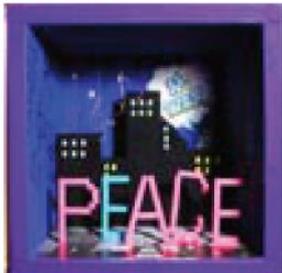
美術ワークショップ

ボックスアートに思いを込めて

3年 組 番

氏名

2 ボックスアートって?→箱の中に作品を作ること。



美術ワークシート

ボックスアートに思いを込めて

3年 組 番

氏名

③ アイディアスケッチ…の前に。3年間で振り返ろう。

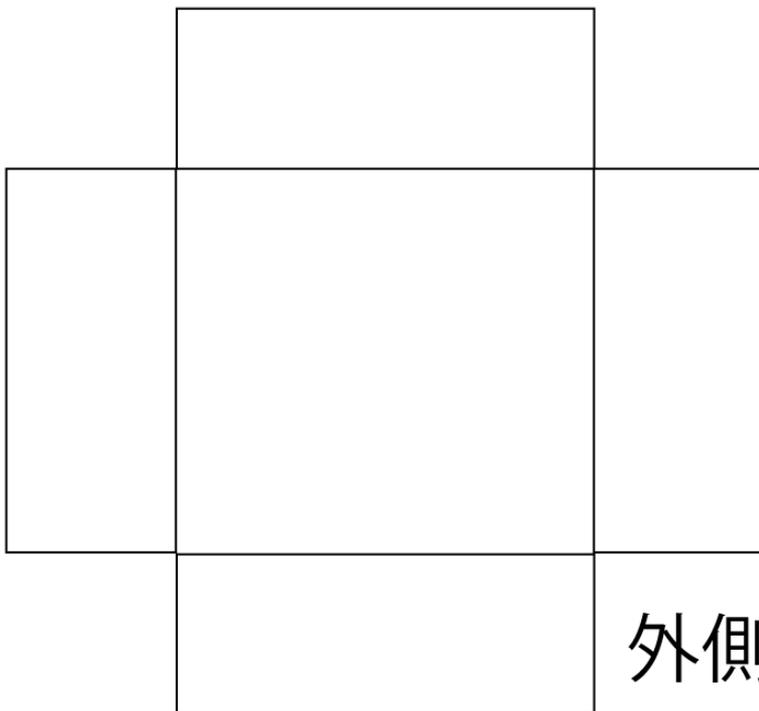
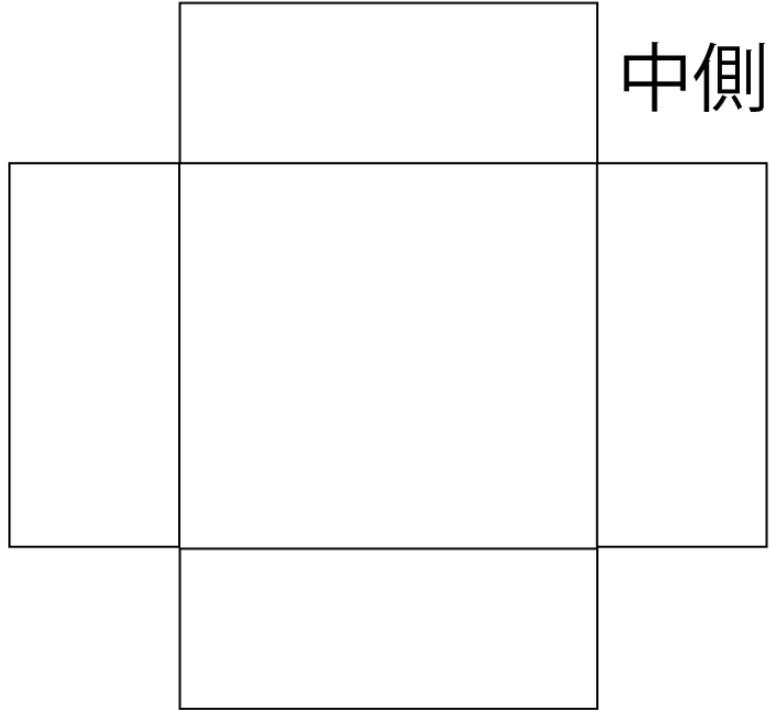
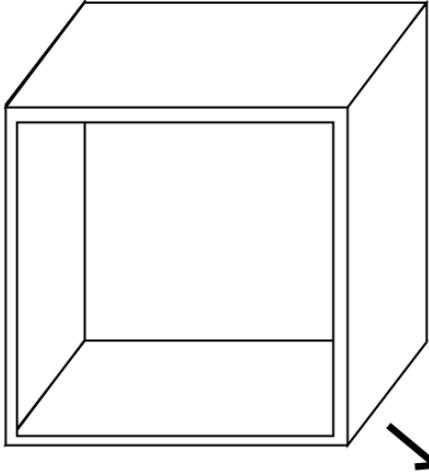
※誰が見ても分かるように、詳しく書こう♪

(1) 3年間で1番力を入れて頑張ったことは？ (ex) 部活を辞めずに続けたこと、テストで常に10位以内だった…など	
(2) 3年間で1番楽しかった思い出は？ (ex) 体育大会前にみんなで缶けりをした、水鉄砲ではしゃいだ…など	
(3) 3年間で1番辛かった思い出は？ (ex) クラス替えで友達とクラスが別になった、部活のダッシュ…など	
(3) 3年間で1番嬉しかった思い出は？ (ex) 大会で優勝した、好きだった人に告白された…など	
(5) 3年間で1番悲しかった思い出は？ (ex) クラス替え、大好きだった先生が転勤した…など	
(6) 3年間で1番むかついた思い出は？ (ex) 友達とケンカした、親が意味もわからず怒ってきた…など	
(7) その他	



「何について」ボックスアートを作りますか？（テーマ、何を作るか、何が必要か…など）

4 アイディアスケッチ



外側

